

# 安全報告書

2015年(平成27年)版

三陸鉄道株式会社

この報告書は、鉄道事業法に基づき公表するものです。

## 社 員 行 動 指 針

### 【安全、安心の提供】

私たちは、安全の確保を最優先し、お客様に安心して利用いただける鉄道運行を行います。

### 【お客様の満足度の向上】

私たちは、常にお客様の視点に立って、満足いただけるサービス・商品の提供に努めます。

### 【地域振興への貢献】

私たちは、地域の皆様や関係機関と力をあわせ、産業振興や地域の活性化に貢献します。

### 【社会的責任の遂行】

私たちは、地域の一員としての自覚を持ち、明るく住みやすい社会の実現のために行動します。

### 【社員力の向上】

私たちは、常に問題意識を持ちながら自己研さんに努め、必要な変革に挑戦します。

## 目 次

1	社長からのメッセージ	1
2	安全基本方針と安全目標	
2-1	安全基本方針	2
2-2	安全目標	2
3	安全管理	
3-1	安全管理体制	3
3-2	安全管理方法	4
4	安全重点施策	
4-1	保安・防災対策	4
5	安全対策の実施状況	
5-1	防災対策	5
5-2	社員教育	7
5-3	その他	8
6	輸送の安全の実態	
6-1	運転事故等の発生状況	9
6-2	災害等の発生状況	9
7	お客様とのコミュニケーション	9

## 社長からのメッセージ

平成 23 年の東日本大震災以降、多くの皆様から様々なご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

おかげさまで昨年 4 月 5 日に南リアス線全線で、翌 6 日には北リアス線全線で運行を再開することができました。全線運行再開以降、県内外はもとより海外からのお客様にもご乗車いただき、地域の皆様とともに復興に向けて前進していることを実感しています。

震災から全線運行再開まで、国、県、沿線市町村はもとより全国からたくさんのご支援をいただきました。ご支援・応援いただいている多くの皆様に厚く御礼申し上げます。

三陸鉄道は、引き続き社員一丸となって地域の足としての役割を果たすとともに、産業振興や地域の活性化にも取り組んでまいります。

平成 26 年度も安全目標として掲げていた「鉄道運転事故ゼロ」「重大インシデントゼロ」を達成することができました。また、避難路案内看板の設置や津波避難路の追加設置等を行うとともに、社員全員で津波発生時の避難訓練も行いました。

地域の皆様にも、旅行で訪れるお客様にも「安心」を提供するため、これからも「安全」を最優先とする企業風土の確立に努めてまいります。

皆様には、これからも変らぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本報告書は、鉄道事業法第 19 条の 4 に基づき、平成 26 年度に実施した安全確保のための取り組みや鉄道運転事故・輸送障害の発生状況等について報告するものです。

ご一読いただき、ご意見ご感想をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

望月 正彦



お座敷列車北三陸号



新車両 36-R3 形



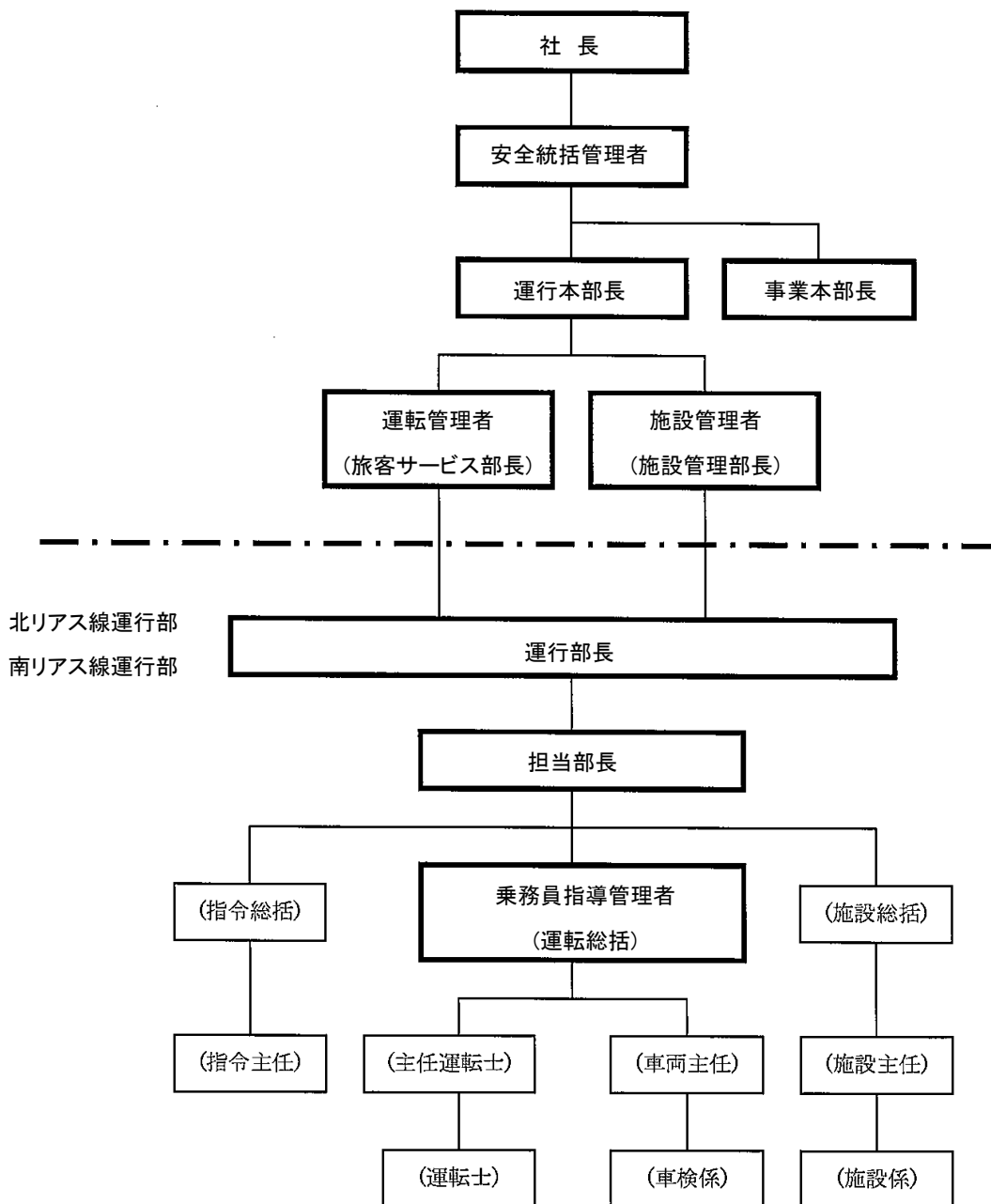
### 3 安全管理

#### 3-1 安全管理体制

安全管理規程において、輸送の安全を確保するための社内の体制は安全管理体制図のとおりとなっています。

社長が選任した安全統括管理者のもとに運転管理者並びに安全を確保するための各部門の責任者を定め、その役割や権限等を定めています。

安全管理体制図



### 3-2 安全管理方法

#### ○安全管理委員会

安全管理委員会規則に基づき、社長・安全統括管理者・運転管理者ほか運行の安全に関する社員により構成された安全管理委員会を年に4回（4月、7月、10月、1月）開催します。

#### ○安全基本方針の掲出

安全管理規程第2条に規定する安全基本方針を全職場に掲出することにより安全意識の徹底を図ります。

#### ○トップによる現場巡回

社長による全社員の面接を実施します。

実車による異常時訓練、年末年始の安全総点検等において社長、安全統括管理者等の現場巡回を1年に3回以上実施します。

#### ○ヒヤリハット事例の収集

ヒヤリハット（事故には至らなかったものの危険だと感じた事象）の報告様式を定め、社員からの報告を積極的に収集し安全管理委員会等で改善策の検討を行い、事故の未然防止に努めるとともに、安全に対する意識の向上を図ります。



経営トップの安全総点検  
視察状況

## 4 安全重点施策

### 4-1 保安・防災対策

項目	内容	事業費
通信ケーブルの更新	老朽化対策として、通信ケーブル10,054mの更新を行いました。	96,821 千円
風速計監視装置の増設	安全性向上のため、南リアス線2箇所、北リアス線2箇所に風速計監視装置を増設しました。	24,590 千円



新たに設置した風速計（陸中野田駅）

## 5 安全対策の実施状況

### 5-1 防災対策

#### ○強風対策

南リアス線6箇所、北リアス線6箇所の合計12箇所の風速計で風速を監視し、瞬間風速20m/s以上で25km/hの徐行運転を行い、瞬間風速25m/s以上で列車の運転を見合わせています。



三杯式風速計と防風柵



風速監視装置

#### ○降雨対策

南リアス線2箇所、北リアス線3箇所の合計5箇所の雨量計で時間雨量、連続雨量を監視し、区間ごとに規制値を定め徐行又は運転見合わせを行っています。

河川の増水に対しても基準を設け、列車の安全を確保しています。



雨量計



雨量監視装置



○地震対策

南北リアス線各 1 箇所地震計で揺れの加速度を測定し、気象庁発表のデータと併せて運転規制を行っています。

4 0 gal 以上又は震度 4 徐行運転

8 0 gal 以上又は震度 5 以上 運転見合わせ



地震計



地震警報器

○津波対策

津波発生時の避難のために津波避難路看板を南リアス線 1 2 箇所、北リアス線 1 0 箇所、避難路界看板を南リアス線 1 4 箇所、北リアス線 1 3 箇所設置するとともに、津波避難階段を新たに 2 箇所設置しました。



避難路看板



避難路界看板



津波避難階段

## 5-2 社員教育

### ○定例勉強会

年間計画で毎月のテーマを定め、勉強会を実施しています。

### ○異常時対応訓練

1年に1回(主に6月頃)列車火災、大地震、津波、信号故障等の異常時を想定した実車を使用した訓練を実施しています。

平成26年度は震度6弱の地震が発生し大津波警報が発令されたという想定のもと、北リアス線で「地震・津波発生時の運転取扱い訓練」を南北合同で実施しました。

実施日：6月24、25、26日



集合点呼



地震発生、避難はしご設置



車内の状況確認



はしごによる避難



要介助者救助



車イスによる避難

### 5-3 その他

#### ○こども110番

トラブルに巻き込まれた児童救済のための緊急避難協力所として南リアス線で4駅、北リアス線で5駅に「こども110番の駅」ステッカーを表示しています。

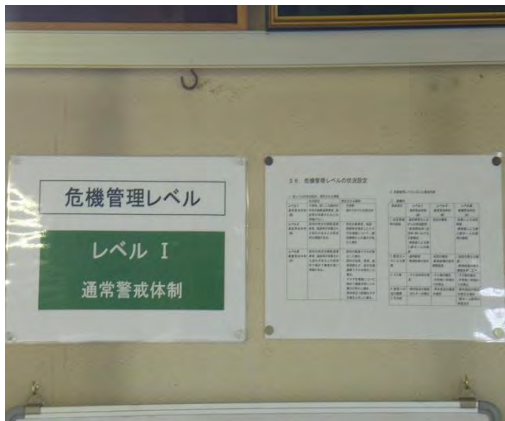


#### ○交通安全運動への参加

交通安全運動へ積極的に参加し、駅前などでのPR活動、踏切の安全通行に関する啓発活動などを行っています。

#### ○テロ対策

- ・危機管理レベルを設定し、車内に掲出しています。
- ・駅、車内等に不審物発見時の対応チラシを掲出し、お客様に注意を促しています。
- ・盛駅、釜石駅、宮古駅、久慈駅に防犯カメラを設置しています。



危機管理レベルの掲出状況



車内チラシ掲出状況



防犯カメラ設置状況

## 6 輸送の安全の実態

### 6-1 運転事故等の発生状況

○運転事故（列車火災、脱線等）の発生件数	0件
○インシデント（事故の恐れがある状況）の発生件数	0件
○輸送障害（列車の運休又は30分以上の遅延）の発生件数	
・車両又は設備が原因のもの	1件
・大雨、強風、地震、津波が原因のもの	30件
・列車支障	3件

### 6-2 災害等の発生状況

平成26年度、災害の発生はありませんでした。

## 7 お客様とのコミュニケーション

○当社ホームページにおいて会社概要、列車時刻、運賃などをご案内しています。

ホームページアドレス <http://www.sanrikutetsudou.com>

○南リアス線、盛駅、釜石駅、北リアス線、宮古駅、久慈駅に声の箱を設置して、お客様からのご意見を頂戴しています。

平成27年7月

三陸鉄道株式会社

〒027-0076 岩手県宮古市栄町4番地

Tel 0193-62-8900

Fax 0193-63-2611